

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2026年3月13日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	商学部
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2026年1月7日
明治大学卒業予定年月	2027年3月
留学先大学について	
留学先国	スイス
留学先大学	スイス・アメリカン応用科学大学(日本語名) American Institute of Applied Sciences in Switzerland(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	フランス語/英語
留学期間	2025年9月～2026年1月
留学先大学で在籍した学年	3年生
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 経営学部 現地言語での名称: The Bachelor of Science in Business Administration (BSBA) <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 9 月中旬～12 月上旬 2 学期: 1 月中旬～4 月上旬 3 学期: 5 月中旬～8 月上旬 4 学期:
学生数	人
創立年	1963年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (CHF) (1 現地通貨 = 189 円)	B 日本円	備考
授業料	0CHF	0 円	交換留学のため、授業料免除
宿舍費	2695CHF	502,317 円	780CHF/月
食費		250,000 円	
図書費	0	0 円	
学用品費	0	0 円	日本から全て持参
携帯・インターネット費		19,561 円	e-SIM を購入
現地交通費		50,000 円	長期滞在者用の半額チケットを購入した (<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	200CHF	40,315 円	
旅費(留学中)		400,000 円	スペイン・フランス・チェコ・オーストリア・ハンガリー・スイス国内
被服費		3,159 円	パーティー用のドレスを通販で購入
医療費	0	0 円	
保険費		46,760 円	形態: 東京海上日動(明大サポート)
渡航旅費		245,570 円	往復(エミレーツ航空)
ビザ申請費	154CHF	28,700 円	滞在許可証取得費
雑費		4,613 円	PC 充電器
その他		54,185 円	日本からの物資郵送料
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	(= 円)	1,645,180 円	
総計(A+B) ※円		1,645,180 円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等: 現地の友人・学校の寮担当者)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

外務省の「たびレジ」に登録しました。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

私は、予めヨーロッパ全土で利用できるe-SIMを購入していきました。接続に関しては特に問題はなかったです。寮でも学校でも専用のWifiが使えますが、寮のWifiは部屋によって通信速度が異なったり、大学が休みの期間は使用できなかったのが少し不便でした。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地での銀行口座は開設しませんでした。その代わりに、私は主にJAL Payを使用しました。JAL Payは主要な国の通貨には対応してますし、両替等もすべてアプリ上でできるので、カードを持たなくても携帯さえあればすべて完結します。また、マイルが貯まるのも一つのメリットです。寮の家賃料の支払いにはWISEを利用しました。WISEは為替レートが他よりも安くお得なため、重宝しました。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

基礎調味料・お米・防寒具・お菓子

基本的にほとんどのものが現地調達できますが、日本よりは高いので持参することをおすすめします。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
12 単位		<input checked="" type="checkbox"/> 8 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input checked="" type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:		
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Operation Management		オペレーション管理
科目設置学部・研究科	BSBA	
履修期間	Fall Term	
単位数	3	
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	教授と生徒とのディスカッション・授業内プレゼン(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回	
担当教授	Dr,Natalia Gambirasi	
授業内容	組織がどのように運営を設計・実行・改善し、商品やサービスの提供プロセスを最適化するかを学ぶ。製造業・サービス業の双方に対応したオペレーション戦略理論を、具体的なケーススタディを通じて、実践的に見につける。授業は主に理論の説明とプレゼンを中心に進められ、その都度教授からのフィードバックを受けるという形式。	
試験・課題等	中間試験・期末試験(どちらも筆記)	
感想を自由記入	授業は主にケーススタディとプレゼンテーションを中心に行われたため、事前に配布されるスライドの内容を理解しておくことが重要でした。また、ほとんど毎回の授業でプレゼンテーションの作成から発表まで行うことを求められたため、英語でのプレゼンに慣れていなかった当初はとても大変で、自分の未熟さに落ち込むこともありましたが、回を重ねるうちに次第に慣れ、プレゼン力や英語力の向上につながり、とても貴重な経験だったと感じています。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Personal Branding	パーソナルブランディング
科目設置学部・研究科	BSBA
履修期間	Fall Term
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	教授と生徒とのディスカッション(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回
担当教授	Dr. Eleanor T. Khonje
授業内容	企業ブランディングの定義(ブランド・アイデンティティ/ブランド・イメージ)を基礎に、個人のブランドとは何か、どう形成していくか、そしてそれをどうプロフェッショナルな場面で活かすかについてを学ぶ。心理学的なアプローチやビジネス概念を通じて、自分の強みやアイデンティティ、価値観の理解を深め、自身を持って自己表現する力を養う。
試験・課題等	中間試験: 筆記(複数選択と記述) 期末試験: 個人プレゼンテーション
感想を自由記入	この授業は AUS の中でも特に人気のある科目でした。教授もとても魅力的で、授業内容も「自分自身」や「自分の真の価値・ブランド」を追求するというテーマだったため、とても楽しく取り組むことができました。授業を通して自己理解をするという機会はこれまでなかったので、とても新鮮でした。この授業で得たことは今後の就活や自身のキャリアに活かせるのでとても有意義でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Project Management・	プロジェクト管理
科目設置学部・研究科	BSBA
履修期間	Fall Term
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	教授と生徒のディスカッション・プレゼン(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回
担当教授	Dr. Mario Saba
授業内容	プロジェクトマネージャーが直面する課題と、それらの対処法を学ぶ。プロジェクトのライフサイクル全体(立ち上げ・計画・遂行・管理・終了)を段階的に、実際のビジネス状況に当てはめて分析していく。プロジェクトの存在意義から計画、進行、終了までの一連の流れを、理論→ケーススタディの順に進めていくため、実践力やプレゼン力が身についた。
試験・課題等	中間試験: ケーススタディ 期末試験: グループプレゼンテーション
感想を自由記入	この授業も主にグループワークとプレゼンテーションを中心に進められました。プロジェクトマネージャーの視点に立って、どのようにプロジェクトを進行させていくのかという具体的な内容や戦略を学ぶ機会はこれまでになかったため、現実的かつ実践的なスキルを身につけられたことは非常に貴重な経験でした。また、各プレゼンテーションごとに教授が評価をつけてくださったため、自身のプレゼン力向上にもつながりました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Financial Accounting	財務会計
科目設置学部・研究科	BSBA
履修期間	Fall Term
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回
担当教授	Dr.Laure Matsoukis
授業内容	この授業では、財務会計の原則と実務の基礎を学ぶ。貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書の作成と解釈を学び、それらを利用して企業の財務状況や業績を読み解く力を身につける。最終的には、自分で一から財務諸表を作成することが求められる。
試験・課題等	中間・期末ともに筆記試験
感想を自由記入	この授業では主に財務会計の基礎を学びました。内容としては簿記学にとっても似ていました。私はあまり会計や計算などに興味がなく、どちらかというと苦手意識を持っていたため、初めは授業についていけるかとても不安でした。しかし、以前に簿記 3 級を勉強していたおかげで、その知識が大いに役に立ち、特に困ることはなかったです。教授もとても優しく、全員がしっかり理解できるまで丁寧に説明して下さったおかげで、今では会計が得意分野の一つになりました。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	留学先選定
	10月～12月	IELTS受験・選考準備
留学開始年	1月～3月	
	4月～7月	航空券の購入・滞在先確保
	8月～9月	留学準備・出国・滞在許可証の申請
	10月～12月	中間・期末試験
留学/帰国年	1月～3月	帰国
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留學生生活全般等について、アドバイスを記入してください。

留学先国・大学について

私がスイスを選んだ理由は2つあります。

一つ目は、治安の良さと雄大な自然に囲まれた環境の魅力です。スイスは自然の美しさで有名ですが、私自身も最初は、綺麗な自然に囲まれて生活がしたいという憧れからスイスを留学先を選びました。また、物価が高いというデメリットはあるものの、その分治安がとても良いという点も、留学先を選ぶにあたってかなり重視しました。実際に、日本にいるのと同じくらい、場所によってはそれ以上に治安が良く、街や公共のトイレもかなり清潔に保たれているため、とても快適に生活することができました。

二つ目は、留学先である大学の AUS に魅力を感じたからです。AUS は他の大学と比べると規模は小さいですが、多国籍な環境の中で高度な学習スタイルが整っています。規模が小さい分、学校にいるほとんどの学生やスタッフと自然と仲を深められますし、授業も教授との距離が近く、日本と違ってかなりアクティブなので、言語力だけでなく思考力も身についたのが良かったです。

留学に関するアドバイス

私は留学したのが3年生の秋だったので、就活や卒業を考慮して、半期しか留学しないつもりでした。そのため、せっかく留学するなら日本人がいない環境に身を投じてみたいという思いがあり、そこで AUS を見つけました。行く前は少し不安もありましたが、結果的にはこの選択をして本当に良かったと思います。これまで関わることのなかった国籍の友達にたくさん出会い、さまざまな文化や価値観に触れることができ、自分が思い描いていたような留學生生活を送ることができたので、一生モノの経験ができた実感しています。

留学に行くのを迷っている方や、色んな不安を抱えている方は多くいると思いますが、まずは思い切って挑戦してみることで、慣れない環境に一歩足を踏み入れてみるのが大事だと思います。また、これから留学に行く方には、語学力やコミュニケーション力もちろんだ大事ですが、何よりも柔軟な心を持つことを心掛けてほしいと思います。海外なので日本とは全く異なる環境・価値観があつて当たり前です。そこで自分の思い通りにならないことや辛い経験をするかもしれませんが、そこに直面した時にそれをどう捉えるかで留學生生活は全然違うものになります。何事も前向きに受け止め、限られた時間の中で少しでもご自身が成長できるよう、さまざまなことに挑戦しながら、充実した留學生生活を送ってほしいと思います。